

平成17年4月度 販売電力量

1. 概況

4月度の販売電力量は65億16百万kWhとなり、前年に対し+5.4%と3か月連続で前年を上回った。

(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

3月中旬から下旬にかけての気温が前年に比べ低めに推移したことによる暖房需要の増加や、電灯や業務用電力の需要数の増加などから、前年に対し+6.5%と3か月連続で前年を上回った。

平均気温(九州7県平均) ()

	3月				4月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実績	8.5	9.3	11.3	9.7	16.0	15.4	18.4	16.6
前年差	0.9	3.6	1.8	1.5	2.2	2.9	1.2	0.2
平年差	0.4	0.9	0.3	0.6	2.4	0.2	1.5	1.4

(2) 大口電力需要

パルプ・紙などは減少したものの、化学や電気機械などが増加したことから、前年に対し+2.6%と16か月連続で前年を上回った。

2. 用途別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比	
特定規模需要以外の需要	電灯	2,319,126	107.9	
	電力	低圧	365,107	105.8
		その他	120,209	105.9
	電灯・電力計		2,804,442	107.5
特定規模需要	業務用	1,411,853	107.1	
	産業用	2,299,379	102.0	
	特定規模需要計	3,711,232	103.9	
販売電力量合計		6,515,674	105.4	
(再掲)	一般需要	4,769,269	106.5	
	大口電力	1,746,405	102.6	

(注): 産業用電力には、その他電力を含む

3. 大口電力産業別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比
機械	電気	441,820	102.3
	輸送用	81,927	99.1
	その他	34,873	107.0
	計	558,620	102.1
鉄鋼		222,115	100.4
化学		177,621	110.3
窯業土石		86,987	111.3
(セメント)		55,598	115.2
食料品		126,832	100.0
パルプ・紙		37,524	81.1
非鉄金属		82,794	110.1
繊維		14,451	93.7
その他		439,461	102.0
合計		1,746,405	102.6

(参考) 電力各社別販売電力量(17年4月)

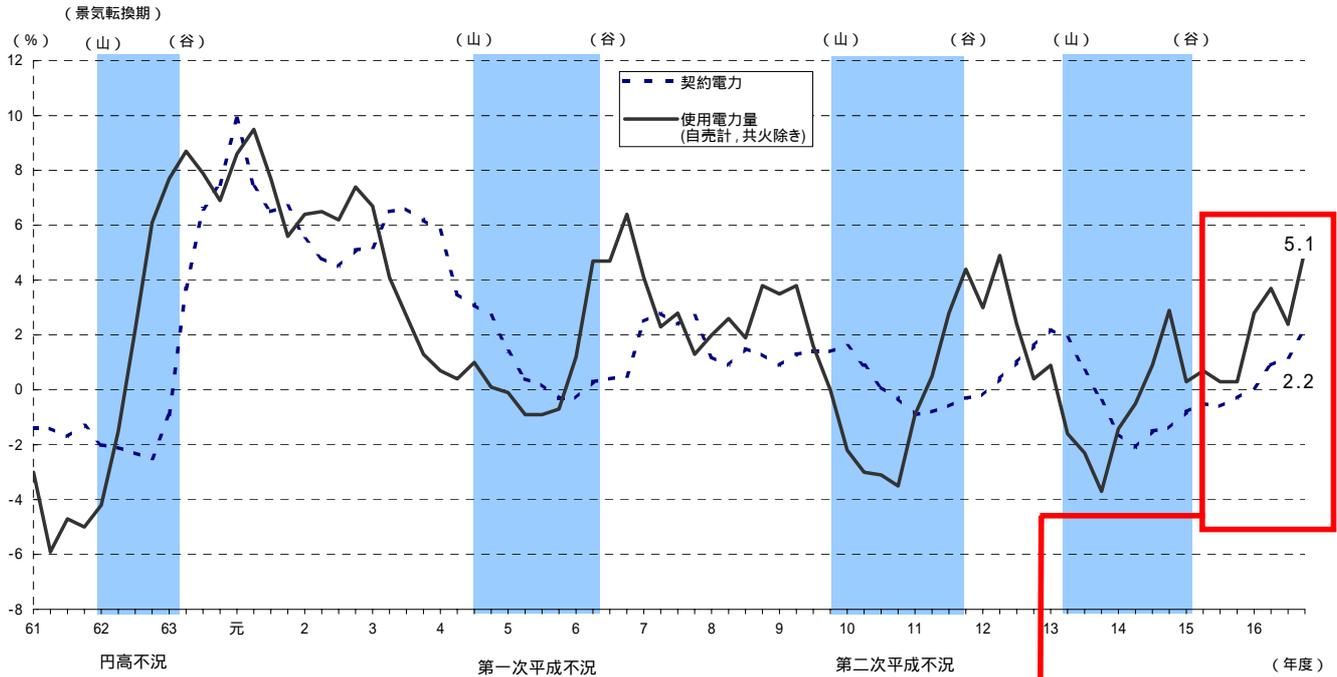
(百万kWh, %)

		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計	
実績	特定規模需要以外の需要	電灯	1,047	2,123	7,954	3,074	609	4,090	1,553	783	2,319	23,552
		電力	196	380	1,042	693	130	607	262	178	486	3,974
		電灯・電力計	1,243	2,503	8,997	3,767	739	4,697	1,815	961	2,805	27,527
	特定規模需要	業務用	742	2,759	8,537	5,071	1,069	4,525	2,237	824	1,412	27,176
		産業用	688	1,262	5,763	1,695	341	2,587	848	408	2,299	15,891
		特定規模需要計	1,430	4,021	14,300	6,766	1,410	7,112	3,085	1,232	3,711	43,067
販売電力量合計		2,673	6,524	23,297	10,533	2,149	11,809	4,900	2,193	6,516	70,594	
(再掲) 大口電力		449	2,025	6,829	3,892	831	3,549	1,821	631	1,746	21,773	
前年比	特定規模需要以外の需要	電灯	102.4	101.2	104.5	107.2	107.3	106.8	106.6	108.5	107.9	105.5
		電力	109.0	100.9	100.8	104.1	101.8	102.7	102.4	102.9	105.8	102.9
		電灯・電力計	103.4	101.2	104.1	106.6	106.3	106.2	105.9	107.4	107.5	105.1
	特定規模需要	業務用	104.1	105.6	100.9	106.7	104.5	103.0	107.4	103.4	107.1	103.5
		産業用	103.7	101.1	99.2	100.4	103.8	101.6	103.4	102.0	102.0	100.9
		特定規模需要計	103.9	102.5	99.9	101.9	104.0	102.1	104.5	102.5	103.9	101.8
販売電力量合計		103.6	102.0	101.5	103.5	104.8	103.7	105.0	104.6	105.4	103.1	
(再掲) 大口電力		104.3	100.9	98.8	100.9	104.6	102.2	103.6	102.6	102.6	101.0	

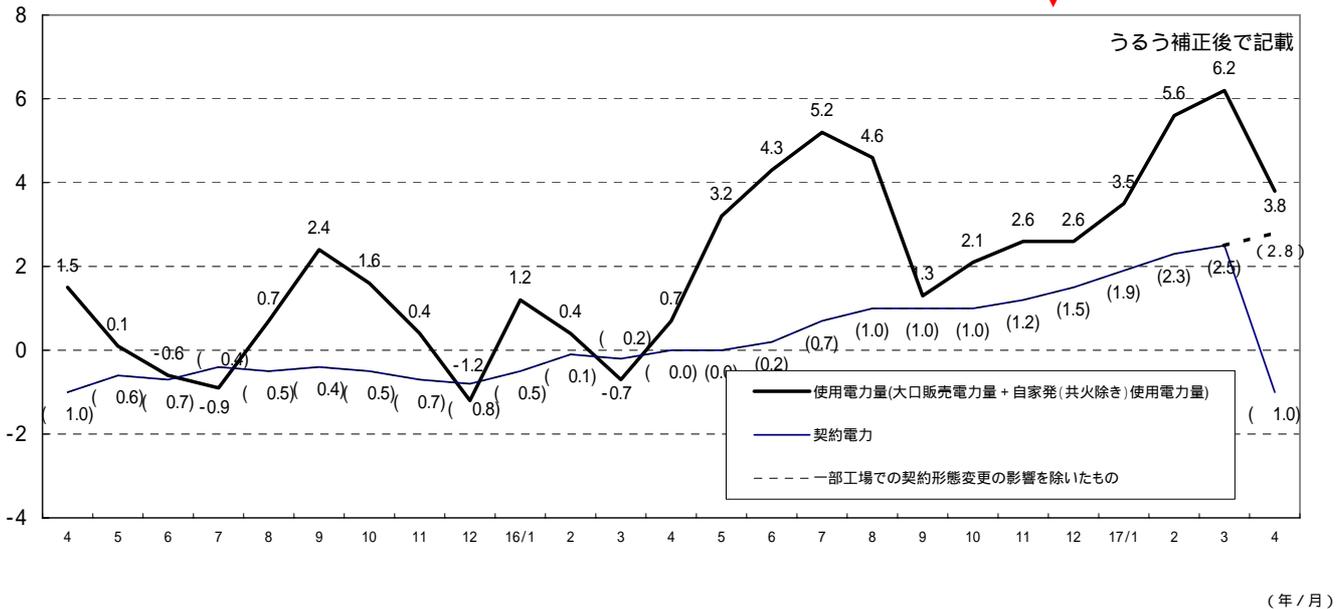
(注)1. 電気事業連合会統計委員会の資料による。当社以外は速報値。2. 個々の数値と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

（１）四半期別動向



（２）月別動向



大口カーブは景気判断の物差しのひとつ

「使用電力量」は、契約電力500kW以上の産業用大口電力の販売電力量と、工場が独自に持っている自家発自家消費電力量を加えたもので、生産活動の活発さを反映している。

「契約電力」は、工場などの生産能力と、設備投資の動向を反映している。

経験則では、「使用電力量」の伸びが「契約電力」の伸びを上回るときは好況、逆の場合は不況である。2つのグラフが交差するときが、景気の転換点にほぼ一致している。

17年4月度は、使用電力量の伸びが契約電力の伸びを、13か月連続で上回った。

